



# 従業員とともに

世界41カ国に拠点を持ちグローバルに事業を展開するコニカミノルタでは、さまざまな国籍、言語、バックグラウンドを持つ従業員が活躍しています。これら多様な個性を持った人材が価値観を共有し、緊密に連携することが、企業の競争力の源泉となります。このためコニカミノルタでは、考え方や専門性の多様性を尊重し、人材の育成と活用をグローバルな視点で実践することで、社会に新しい価値を創造し続ける企業となることを目指しています。

また、従業員一人ひとりが心身ともに健康な状態で活躍できる環境づくりのため、労働安全衛生の向上にグループ共通の課題として取り組んでいます。



## 2012年度の活動実績

■ 全世界共通の人材育成と活用の仕組みを構築するとともに、グローバル人材の育成をさらに進めました。 **▼P34**

■ 類似災害の発生抑制のための情報共有と、安全意識醸成に向けた休業災害発生時の「トップ診断」に注力しました。 **▼P35**

ビジネスリーダーの育成を図る「グローバルエグゼクティブプログラム」参加者数  
(2010～2012年度の累計)

**114名**

重篤災害発生件数\*

**0件**

\* 重篤災害: ①死亡、長期療養を要する(または可能性のある)疾病、障害の残る(または可能性のある)怪我、特定伝染病  
②一時に3人以上の労働者が業務上死傷または罹病した災害(不休含む)

## 従業員の人権の尊重

コニカミノルタは、従業員一人ひとりの人格、個性を尊重することを「コニカミノルタグループ行動憲章」に定めています。加えて、全世界共通の「行動憲章ガイダンス」には、より具体的に、人種、国籍、性別、宗教、信条、障がいなどによるあらゆる差別を排除すること、児童労働、強制労働を排除すること、一切のハラスメント行為を禁止することを明記しています。さらに、このような人権侵害があった際の相談窓口を各国で整備しています。また、「国連グローバル・コンパクト」に署名し、結社の自由と団体交渉の権利についても保証しています。

なお、児童労働については、各国での採用時に年齢確認を徹底するなどの施策により、そうした事例はありません。また、強制労働についても同様に事例はありません。

## 従業員の地域別構成比

全世界**41,844名**

アジアおよびその他  
13,448名  
(うち、中国 10,195名)

**32%**

日本12,539名

**30%**

欧州 8,151名  
(うち、ドイツ  
2,178名  
フランス 1,474名)

**20%**

北米7,706名

**18%**

(連結対象の正規従業員数。2013年3月31日現在)

# 多様な人材の登用および育成

## ■ 全世界共通の人材育成と活用の仕組みを構築

コニカミノルタは、グループ共通の「人材育成と活用」のためのプラットフォーム(仕組み・ツール・考え方)を構築し、グループ全体で人材総合力のレベルアップを進めています。その基礎となる世界共通の人事データベースには、グループ会社の幹部層の登録を完了しました。そこから選抜されたメンバーの育成プログラムとして、「グローバルエグゼクティブプログラム」を実施しています。今後は登録、育成の対象をマネージャーを含む層に拡大していく予定です。さらに、グループ各社でもこのプラットフォームを活用し、求められる人材の価値基準を全世界レベルで浸透させることで、人材の多様性を尊重しつつ「One Konica Minolta」としての人材の育成と活用をグローバルレベルで図っていきます。

## ■ グローバルなビジネスリーダーの育成

コニカミノルタは、世界各地の経営幹部が、グループ全体のビジネスリーダーとしての意識を高めるとともに、人的ネットワークを構築することを目的に、2010年度から「グローバルエグゼクティブプログラム」を実施しています。

2012年度末までに7回開催し、合計で59社から114名が参加しました。約1週間の研修では、経営トップとの直接対話や参加者同士の討論などによって、グローバルマインドの醸成とリーダーシップ開発を図っています。今後は、対象をマネージャークラスまで拡大し、経営幹部候補を育成する「リージョナル・グローバルエグゼクティブプログラム」を欧州・北米・アジアなどの地域ごとに開始する予定です。



グローバルエグゼクティブプログラム

## ■ グローバル人材の採用、海外人材交流の推進

国際社会で活躍できる人材の強化に向けて、日本国内での新卒採用においても、外国籍人材および海外在住経験のある日本人などを「グローバル人材」として、積極的に採用しています。2012年度に採用が決まった112名のうち、約35%がグローバル人材でした。

さらに、国内と海外のグループ会社間での人材交流を推進しています。日本派遣プログラムでは、数カ月もしくは2〜3年の期間で日本での業務を経験し、両国間の懸け橋となる「グローバルブリッジ人材」の育成を図っています。2012年度には、ドイツ、オランダ、中国から計15名が在籍しています。また、2012年度には、日本の若手社員を米国に半年間派遣して、語学研修と実務経験を行う海外短期派遣(トレーニー)プログラムを開始し、2名を派遣しました。



トレーニープログラム派遣者の現地交流の様子

## ■ 女性従業員のキャリア形成への支援

女性従業員の活躍をさらに活性化させるため、2010年度から女性従業員キャリア開発のためのさまざまなプログラムを実施しています。例えば、係長クラス的女性従業員から管理職候補として選抜されたメンバーを対象に、一人ひとりの育成計画を作成するとともに、「リーダーシップ研修」を実施しています。さらに、対象者の上司に対する女性活躍推進施策の説明会を開催するほか、指導育成を担う上司とは別のメンター(指導者・助言者)によるサポートプログラムを展開しています。

# 労働安全衛生の推進

## ■ 類似災害の発生の防止

コニカミノルタは、重篤災害発生0件、休業災害度数率※0.1以下を目標に、就業時災害の発生防止に向けたさまざまな施策を行っています。

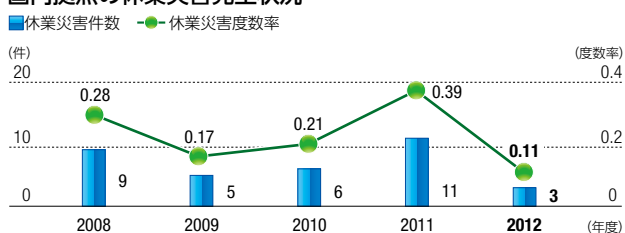
2012年度は、増加傾向にある類似災害の発生防止のため、全世界のグループ会社で災害事例と対策の共有を推進しました。具体的な事故の発生状況を再現写真とともに紹介し、対策を明記した災害情報レポートを作成、イントラネットや掲示板で定期的に掲示しています。

また、休業災害発生時には、各社の安全担当役員が事故発生職場を訪問してヒアリングを行う「トップ診断」を徹底しました。これによって、事故発生要因を追究するとともに、従業員一人ひとりの安全意識の向上を図っています。

これらの結果、2012年度の重篤災害発生は0件、休業災害度数率は国内・海外ともにほぼ0.1を達成しました。2013年度以降も、引き続き類似災害の発生の防止に注力していきます。

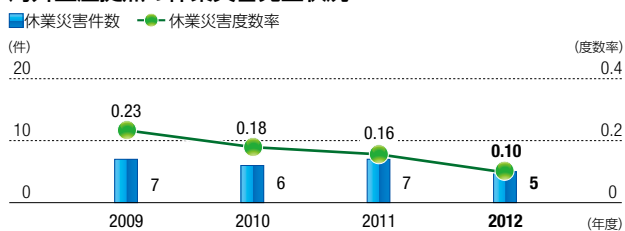
※度数率：100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数

### 国内拠点の休業災害発生状況



※集計範囲：コニカミノルタ(株)および国内グループ会社の正規従業員と派遣社員

### 海外生産拠点の休業災害発生状況



※集計範囲：中国およびマレーシアの主要生産会社の正規従業員と派遣社員



休業災害発生職場へのトップ診断

## ■ 設備本質安全化

「設備本質安全化」とは、設備の安全設計とリスクアセスメントを通じて、設備自体の安全性を高める取り組みです。安全を人に頼るのではなく、人がミスを犯したとしても災害を生じさせないという考え方で活動しています。現在、コニカミノルタでは設備要因による事故はほとんど発生していませんが、重篤災害の発生防止に必要な施策として、継続的に取り組んでいます。

2011年度には、設備の安全設計を担当する技術者向けの教育を完了しました。2012年度は、2013年度からの本格導入に向けて、日本および中国で新規設備を導入した18カ所をモデル案件として設定し、対策を実施しました。

## ■ 従業員の健康障害の予防

コニカミノルタ(株)は、「過重労働による健康障害防止」「心の健康づくり(メンタルヘルスケア)」および「生活習慣病予防」の3つを重点施策とした健康管理中期計画を推進しています。

メンタルヘルスについては、階層別の教育体系を整備してケアの充実を図るとともに、潜在的にメンタルヘルス不全のリスクが高い職場や職種を抽出し、対策を実施しています。また、2012年度には、長期休職者の復職を支援する制度の一環として、一定期間、短時間の業務を行う「復職準備勤務」を導入しました。

# 人材データサマリー

## 従業員の構成(雇用の種類別)

(2013年3月現在)  
(人)

	正規従業員	非正規従業員*	合計
コニカミノルタ(株)	6,624	1,899	8,523
国内グループ会社	5,915	1,592	7,507
海外グループ会社	29,305	7,758	37,063

\*非正規従業員：業務請負、派遣社員、臨時社員

## 従業員の男女比率

(女性:男性)

	2010年度	2011年度	2012年度
コニカミノルタ(株)	16:84	16:84	16:84

\*集計範囲にグループ会社への出向者を含む

## 管理職に占める女性比率

	2010年度	2011年度	2012年度
コニカミノルタ(株)	1.4%	1.6%	1.8%

\*集計範囲にグループ会社への出向者を含む

## 海外現地法人社長の構成比率

	2010年度	2011年度	2012年度
現地採用	42.5%	48.6%	56.5%
女性	1.3%	2.7%	2.4%

## 障がい者雇用比率

	2010年度	2011年度	2012年度
コニカミノルタ(株)	1.90%	1.37%	2.01%

## 主な両立支援制度の利用状況

(人)

	2010年度		2011年度		2012年度	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性
母性健康管理休暇	5		2		3	
出産休暇	33		26		37	
配偶者出産休暇		140		129		137
育児休職	80	1	61	5	51	9
育児短時間勤務	170	0	191	1	166	3
育児在宅勤務	17	5	13	5	13	5
介護休職	1	3	1	0	3	2
介護短時間勤務	1	0	0	0	2	0

\*対象:コニカミノルタ(株)の正規従業員